

(別紙様式1)

令和3年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都道府県名： 熊本県  
農業委員会名： 苓北町農業委員会

I 農業委員会の状況(令和3年4月1日現在)

1 農家・農地等の概要

	農家数(戸)		農業者数(人)		経営数(経営)
総農家数	466	農業就業者数	413	認定農業者	71
自給的農家数	223	女性	179	基本構想水準到達者	0
販売農家数	243	40代以下	49	認定新規就農者	1
主業農家数	91	※ 農林業センサスに基づいて記入。		農業参入法人	3
準主業農家数	50			集落営農経営	2
副業的農家数	102			特定農業団体	0
※ 農林業センサスに基づいて記入。				集落営農組織	2
				※農業委員会調べ	

単位:ha

	田	畑	普通畑	樹園地	牧草畑	計
耕地面積	289	341				630
経営耕地面積	192.83	215.37	121.7	58.04	35.63	408.2
遊休農地面積		0.03				0.03
農地台帳面積	367	667				1034

- ※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入  
※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入  
※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 農業委員会の現在の体制

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 R 4 年 3 月 31 日

	農業委員			定数	実数	地区数
	定数	実数				
農業委員数	7	7	農地利用最適化推進委員	8	8	4
認定農業者	—	4				
認定農業者に準ずる者	—	0				
女性	—	2				
40代以下	—	0				
中立委員	—	1				

※現在の体制を記載すること

## Ⅱ 担い手への農地の利用集積・集約化

### 1 現状及び課題

現 状 (令和3年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	630 ha	348.19 ha	55.3 %
課 題	農家の高齢化や後継者不足により、中山間地は遊休農地が増加している。また、農業を担う者も減少しており地域の実情に合わせた、担い手の育成・確保を図る必要がある。		

- ※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入  
※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

### 2 令和3年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積 351.19 ha (うち新規集積面積 3 ha)
	目標設定の考え方:本町の「農地等の利用の最適化に関する指針」に基づき目標値を設定。
活動計画	関係機関と連携し、農地中間管理事業を活用しながら集積・集約化に取り組む。利用権設定の更新については、農業委員・推進委員が戸別訪問を行い、今後の意向を確認する。 人・農地プランの実質化に向けた地域の話し合い活動に参加する。

- ※1 集積目標は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入  
※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転された農地)をどの程度増加させるかを記入  
※3 活動計画は、目標達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

## Ⅲ 新たに農業経営を営もうとする者の参入促進

### 1 現状及び課題

新規参入の状況	平成30年度新規参入者数	令和元年度新規参入者数	令和2年度新規参入者数
	1 経営体	0 経営体	0 経営体
	平成30年度新規参入者が取得した農地面積	令和元年度新規参入者が取得した農地面積	令和2年度新規参入者が取得した農地面積
	0.65 ha	0 ha	0 ha
課 題	農家の高齢化及び農産物価格の低迷による経営の縮小・廃止並びに若者の他産業への流出等により、担い手等の減少が続いており、新規参入者の確保が急務となっている。		

- ※1 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入者数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右側が昨年度)  
※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

### 2 令和3年度の目標及び活動計画

参入目標数	1 経営体	参入目標面積	1 ha
活動計画	苓北町担い手育成協議会との連携により、担い手の確保・育成を図る。		

- ※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数及び参入目標面積を記入  
※2 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

Ⅳ 遊休農地に関する措置

1 現状及び課題

現 状 (令和2年12月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	630 ha	0.03 ha	0.0 %
課 題	農家の高齢化や後継者不足、鳥獣被害により遊休農地が増加している。解消に向けた取り組みが必要である。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び活動計画

目 標		遊休農地の解消面積 1.4 ha		
		目標設定の考え方: 本町の「農地等の利用の最適化に関する指針」に基づき目標値を設定		
活動計画	農地の利用状況調査	調査員数(実数)		調査実施時期
		8 人		5月～8月
		調査方法		
	農地の利用意向調査	各地区毎に地図を作成し、地区担当の推進委員が中心となり現地調査を行う。		
		実施時期		調査結果取りまとめ時期
		11月～2月		11月～3月
	その他	農地パトロールについて、広報誌により住民へ周知する。		

※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない

※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

Ⅴ 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (令和3年3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	630 ha	0 ha
課 題	農地パトロールは実施しているが、違反転用の発見が遅れがちである。	

※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 令和3年度の活動計画

活動計画	農地パトロールによる確認。町広報誌による住民への周知。
------	-----------------------------

※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入